

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	オリーブキッズちはや		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日	～	2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日	～	2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校と家庭以外の第3の居場所として機能しており、子どもたちが安心して楽しく通所していること。また、そうした事業所の支援を保護者にご理解、満足いただけていること。	子どもたちの「やってみたい」「行ってみたい」という声に耳を傾け、年間を通して様々なイベントやレクリエーションを企画している。また、職員同士が明るい雰囲気ですべてに携わることで、子どもたちがリラックスして過ごせるよう心がけている。	保護者や職員からの要望やアイデアを取り入れる機会を増やし、より満足度が高く充実した時間を過ごせるようにしていく。
2	相談体制が整っており、定期的な面談に加え、日ごろから子どもへの関わりや進路についての助言や、社会資源についての情報提供を行っていること。	定期的な面談だけでなく、メッセージツールを活用することで、日ごろから些細なことでも相談しやすい体制を作っている。また、写真つきの連絡システムを活用し、支援の様子が具体的に伝わるよう工夫している。	連絡システムやSNSを通じて、より保護者のニーズに合わせた情報提供を行う。
3	子どもと保護者のニーズや課題に寄り添った個別支援計画が作成されていること。	カンファレンスを通じて、子どもの課題や成長を全職員に共有している。また、多職種がそれぞれの視点から、必要な支援の方向性を検討し、実践している。	多様な意見が交換しあえる雰囲気づくりを心掛ける。また、職員全体が5領域を踏まえた個性の高い支援を行えるよう、研修・支援会議を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士がつながりを持つための場がほぼないこと。	両親ともに働いているご家庭が多く、保護者会を実施するのは困難な状況である。また、保護者同士の関係づくりを必要としていないご家庭もある。	イベント開催時にボランティアを兼ねて子どもの様子を見られる機会を設けていく。また、ご要望があれば、日々の活動の見学に来ていただける旨を発信していく。
2	学校や他事業所との連携の強化が必要。	必要に応じて、学校内での様子や事業所内での様子について、電話等で共有の機会をつくることができた。また、関係者会議が開催される際は積極的に参加することができた。しかし、とくに普通級の子どもの下校時間や行事等の送迎時間に関わる情報の共有について課題があり、送迎のトラブルや引き渡しのミスに繋がる可能性がある。	支援学校だけでなく普通級でも理解を深めてもらえるよう、保護者にもご協力を得ながら、具体的に連携の必要性を提示して各所へ働きかけていく。
3	行事や避難訓練、地域交流の情報など、様々な事柄の発信能力が低い。	連絡システムや事業所 SNSを通じて保護者への発信を行っているが、まだ馴染みがないご家庭も多い。	連絡システムや事業所SNSで引き続き定期的な発信を行うとともに、それらへのアクセス方法の再周知を行う。